

泉南市学校給食におけるサウンディング型市場調査実施結果

泉南市では、学校給食センターの老朽化に伴い、現在学校給食センターにおいて実施している「共同調理場方式（センター方式）」での給食提供を令和7年7月末において終了し、以降は民間給食調理場から各学校への配食を行う「食缶デリバリー方式」での提供を検討しているところです。

現在、「学校給食法の趣旨を踏まえ、より安心・安全な学校給食の提供を行う」ことを目指し、食缶デリバリー方式での課題の整理や実施スケジュールの検討を進めているところであり、今後の策定を予定している「学校給食基本方針」を検討する際の参考とするために、泉南市の学校給食事業に関心のある事業者の皆様を対象に、対話（サウンディング調査）を実施しましたので、調査結果の概要について下記のとおり公表します。

1. 対象業務

市内10小学校における食缶デリバリー方式による給食提供

2. 実施スケジュール

実施要領等の公表	令和5年1月20日（金）
個別対話参加申込期間	令和5年1月20日（金）～2月3日（金）
事前ヒアリングシートの提出期間	令和5年1月20日（金）～2月10日（金）
個別対話の実施期間	令和5年2月20日（月）～3月10日（金）

3. 参加事業者

6社

4. サウンディング結果の概要（主な意見）

事業スキームについて

- ・食材調達を事業者が請け負うことで収益が出せるようなスキームを希望する。
- ・食材調達は委託事業者を介さず市による調達を希望する。
- ・複数社に分散した委託を希望する。
- ・機材等の調達に時間を要するため、準備期間を長くにとって欲しい。
- ・工場建設や拡張、設備投資を伴うことから、長期の契約を希望する。
- ・物価変動に対応した契約見直しができるようにして欲しい。
- ・突発的な給食停止による収入減を避けるため、1食単価契約ではなく、月額での契約を希望する。
- ・配膳室の修繕は市でお願いしたい。

製造食数について

- ・対応可能 4社
- ・一部対応可能 1社
- ・条件によりすべて対応可能 1社

アレルギー対応について

- ・除去食で対応可能 3社
- ・代替食で対応可能 2社
- ・基本は除去食だがメニューにより代替対応可能 1社

人材確保について

- ・一定数以上は有資格者での雇用を義務付けてもらう方が、コストは上がるが人は集めやすい。
- ・学校給食の経験を条件に入れる場合、経験年数の縛りが長くなると人員確保が難しくなる。

食缶・食器等について

- ・食器・食缶・箸は自治体で準備願いたい。
- ・軽くてシンプルな食器の導入が望ましい。
- ・保温性の高い二重食缶の導入が望ましい。
- ・食器は2回転分の導入を求める。
- ・事業者ごとにやりやすい食器・食缶があると思われるため、事業者との調整により準備していただきたい。

配送車両について

- ・できるだけ次世代に対応した車両の導入を進めたいと考えているが、確保が現状大変な状態。
- ・脱炭素対応車両のコストを考えると、現行どおりとならざるを得ない。
- ・コストはかかるが、環境問題を考えれば電気自動車や水素車があれば優先したい。

工場の整備、契約について

- ・新設する場合、2年程度の期間が必要。
- ・現工場を活用して対応が可能。
- ・市による土地の提供があれば進出しやすい。
- ・新設した場合、15年～20年程度の契約を希望。
- ・現工場を活用する場合、3～5年程度の契約も可能。